

第5回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講演：『終末期における歯科 ～ライフステージを考慮した歯科的介入～』

講師：ナハデンタル 歯科医師 宮本 英欧 氏

○日 時：令和6年1月18日（木） 午後7時00分～8時30分

○場 所：Zoomを使用しているオンライン研修会

○参加者：20名

（医師1名、歯科医師1名、看護師2名、薬剤師1名、栄養士2名、リハビリ3名、
歯科衛生士2名、ケアマネジャー・ケアプランナー4名、介護職1名、その他3名）

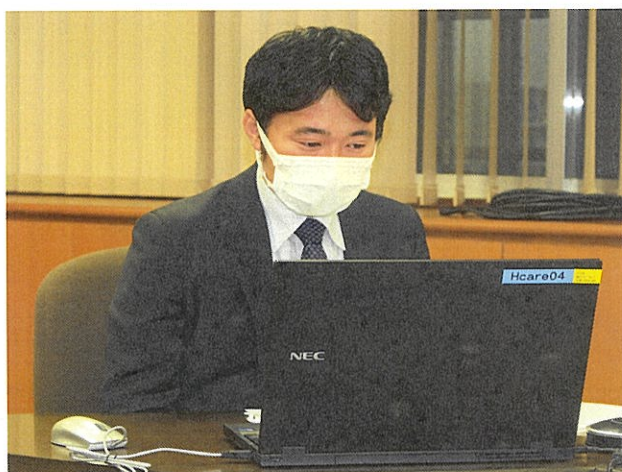
- 【目的】①那覇市における在宅医療を推進し、切れ目ない提供体制を構築するため、在宅医療に必要な基本知識を体系的に学ぶ。
- ②各職能団体と連携することにより多職種チームビルディングの促進を図る。
- ③在宅医療同行訪問研修を組み合わせることにより、在宅医療の実際について学び、連携を強化する。
- ④感染対策のため、オンラインにて研修会を実施する。より多くの専門職に学んでいただくために事後配信も行う。



【対象】医療・介護関係者

【方法】Zoomでの研修会、グループワーク（事例検討 ⇒ 多職種それぞれの視点から意見交換）

【考察】「訪問歯科について理解できたか」については、参加者全員が理解できたとの回答であった。参加者より、「癌の患者さん以外にご高齢で通院ができなくなったステージにある施設入所者や老人ホーム入所者、在宅療養者の口腔ケアは誤嚥性肺炎や嚥下機能低下を予防するため重要であることが理解できた」、また「在宅だけでなく、病院での訪問歯科を積極的にスタンダードに取り組むことができれば、評価や指導内容での伝達、スタッフの知識のアップグレードにもなるので、これから訪問歯科が増えていくことを望む」というご意見があった。中には「回を追う事に参加者が減ってきているのが寂しい」というご意見もあった。次年度は感染対策に配慮しながら、より連携を深めることを目的として、参集型開催を検討中である。



講師：宮本 英欧 氏



司会：長嶺 勝 氏

日 時：令和6年1月18日（木） 19：00～20：30

場 所：Zoomによるオンライン研修会

講 師：ナハデンタル 歯科医師 宮本 英欧 氏

参加者：20名（医師1名、歯科医師1名、看護師2名、薬剤師1名、リハビリ3名、栄養士2名、
歯科衛生士2名、ケアマネジャー・プランナー4名、介護職1名、その他3名）

アンケート回答者：7名

1. 経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	1	14%
6～10年未満	1	14%
11～20年未満	4	57%
21～30年未満	1	14%
31年以上	0	0%
総計	7	100%



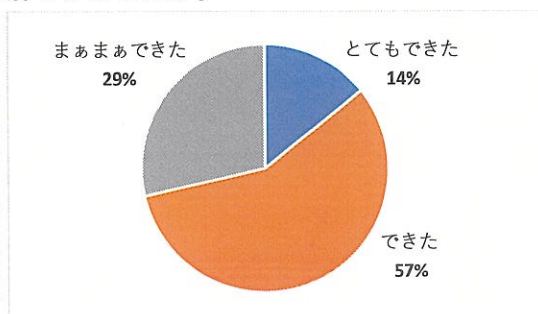
2. 職種の内訳

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	1	14%
保健師	0	0%
薬剤師	1	14%
栄養士	0	0%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	2	29%
リハビリ	2	29%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	1	14%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
総計	7	100%



3. 領域別セッション「訪問歯科」について理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	1	14%
できた	4	57%
まあまあできた	2	29%
できなかった	0	0%
総計	7	100%



4. 演題：『訪問歯科』（講師：宮本 英欧 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

・終末期に限定せず、高齢者における口腔ケアの実践についてのアドバイスや指導も聞きたい。

【宮本 氏より回答】

自立度が高い高齢者であれば外来における口腔清掃と同様の手法で行います。高齢者においては虚弱予防が大切になるので、口腔機能の維持に関わるような機能的口腔ケアが有効だと思います。

・癌の患者さん以外にご高齢で通院ができなくなったステージにある施設入所者や老人ホーム入所者、在宅療養者の口腔ケアは誤嚥性肺炎や嚥下機能低下を予防するため重要であることが理解できた。しかし、実際にどのくらいの方が訪問歯科をご利用しているのか、そのニーズに対応できる体制が整っているのかお聞きしたいと思いました。人材不足でケアをしたくてもなかなか介入できない現状があるのではないのでしょうか？

【宮本 氏より回答】

まだまだ口腔内に関心の高い方々が少なく、本来、歯科的に対応すべき利用者の方々よりも実際に訪問診療に行かせていただいている利用者の割合はかなり少ないと考えております。

さらに高齢者数の増加により、今後、確実にそのニーズは増加すると予想されますが、現在、歯科医師会でその対応体制を整えるべく活動中です。

・歯の大切さ、8020とはいえ、現在歯数よりも機能歯数を保つ必要性があるという事が分かりました。歯のある高齢者が増えている現状も知ることができました。口腔内の清潔を保つ事は分かりましたが、具体的にどのような方法が有効なのかを教えて頂けると今後の利用者支援に非常に役立つと思います。

【宮本 氏より回答】

専門家（歯科医療従事者）による口腔ケア+普段、近くにいる方による毎日のケアが大切かと思えます。また、「器質的口腔ケア+機能的口腔ケア」を意識してください。下記が参考になると思われるリンクです。

日本歯科医師会HP (https://www.jda.or.jp/oral_frail/)

京都府歯科医師会youtube (<https://www.youtube.com/watch?v=MZm34FsOnzs>)

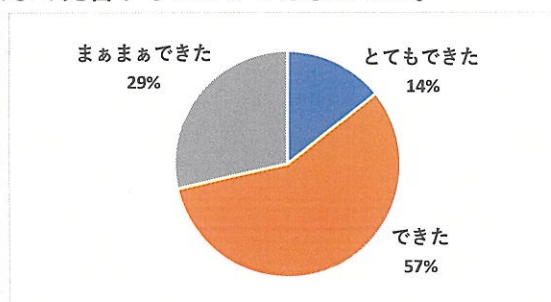
・在宅だけでなく、病院での訪問歯科を積極的にスタンダードに取り組むことができれば、評価や指導内容での伝達、スタッフの知識のアップグレードにもなるので、これからどんどん訪問歯科が増えていくことを望んでいます。分かりやすいスライドありがとうございました。

・歯科訪問について初めて知ることも多く、唾液の出なくなってしまっている人には口腔内崩壊錠が不向きなのかもしれないと気付くこともあり、患者さまの状態を細かく把握していくことの重要性をととても感じました。

・プラーク→菌、など写真で分かりやすく勉強できました。

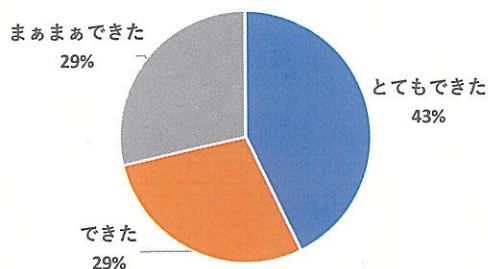
5. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	1	14%
できた	4	57%
まあまあできた	2	29%
できなかった	0	0%
総計	7	100%



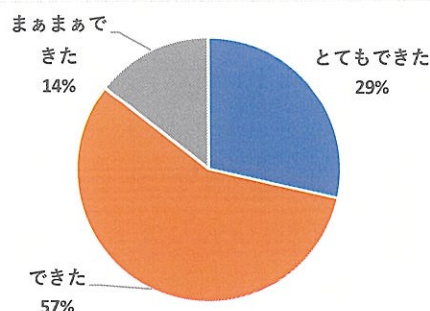
6. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	3	43%
できた	2	29%
まあまあできた	2	29%
できなかった	0	0%
総計	7	100%



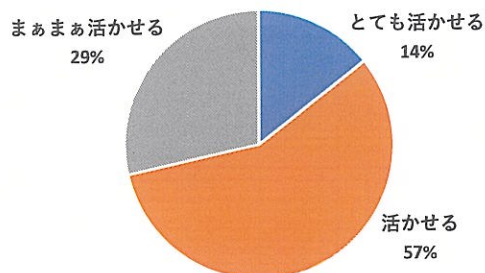
7. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	2	29%
できた	4	57%
まあまあできた	1	14%
できなかった	0	0%
総計	7	100%



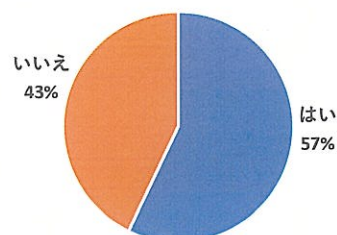
8. 明日からの業務に活かしますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	1	14%
活かせる	4	57%
まあまあ活かせる	2	29%
活かさない	0	0%
総計	7	100%



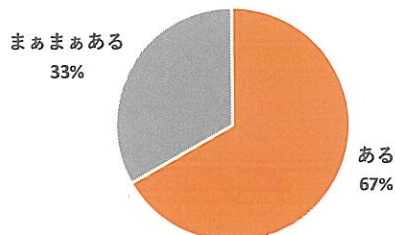
9. 現在、在宅医療・介護に従事していますか。

選択肢	人数	割合
はい	4	57%
いいえ	3	43%
総計	7	100%



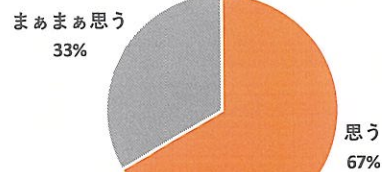
10. 在宅医療・介護に関心がありますか。（問9で「いいえ」と回答した方への質問）

選択肢	人数	割合
とてもある	0	0%
ある	2	67%
まあまあある	1	33%
ない	0	0%
総計	3	100%



11. 今後、在宅医療・介護に関わってみたいと思いますか。（問9で「いいえ」と回答した方への質問）

選択肢	人数	割合
とても思う	0	0%
思う	2	67%
まあまあ思う	1	33%
思わない	0	0%
総計	3	100%

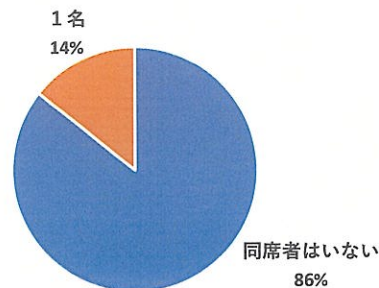


12. 今回の在宅医療・介護スクラム塾の全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・ 終末期における在宅訪問歯科について、情報を得ることができ良かったです。
- ・ 関わりがほとんどない訪問歯科のことが少し理解できたこと。これからの訪問歯科の重要性も改めて認識できました。
- ・ ドクターや介護士、リハビリ、看護師の方々の視点から訪問歯科についてお話を伺うことができ、とても勉強になりました。
- ・ 回を追う事に参加者が減ってきているのが寂しい感じがしました。介護職の方の参加も依然少ないですね。うちの事業所の職員にも声はかけているのですが…。

13. 受講時、同席者は何名いらっしゃいましたか。

選択肢	人数	割合
同席者はいない	6	86%
1名	1	14%
2名	0	0%
3名	0	0%
4名	0	0%
5名	0	0%
6名以上	0	0%
総計	7	100%



14. 同席者の職種について教えてください。（問13で同席者の数を回答した方への質問）

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	0	0%
保健師	0	0%
薬剤師	0	0%
栄養士	0	0%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	1	100%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	0	0%
歯科衛生士	0	0%
その他	0	0%
	1	100%